

穂の国 34.通信

お客様の夢を希望へ、 希望を製品へ、そして進化へ

あいさつ
会社の歳時記
技術の時間
ちょっとコーヒータイム

Vol.10

(有)今泉大伸



〒441-3131
愛知県豊橋市大岩町字小山塚6-2-28
:0532-41-8282
FAX:0532-41-8297
E-mail info@imaizumidaishin.co.jp
<http://www.imaizumidaishin.co.jp>

梅雨の時期にはいり、周りもくもりや雨の日が続くようになってきました。また梅雨も終盤戦になれば、暑い日が続いています。

東日本大震災の影響も少しずつ回復してきているように感じますが。私事ながら、この暑い中での避難所くらしは大変だろうと思います。

先日、病気で介護している家庭に行ってまいりました。

このたびの東北地方太平洋沖地震災害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

長い年月はかかります。しかし、一足飛びでよくなる訳ではないのです。

私共も経験し、そして体験することで、少しずつ勉強させていただいていると坎じております。

MIT(マサチューセッツ工科大)の校章にあるように、理論と実際(コンパスとハンマー)が本当に大切なのだと、感じました。

ニュースレター第10号、一ヶ月遅れで申し訳ございません。

(ホームページのリニューアル準備等々で遅れてしまいました。翌月号からは定期的に発行させていただきます。すみませんでしたm(_ _)m)

最近、国道一号線もトラックの量が少なくなってきました。

それだけ、現実には厳しい様ですね。暑気払いに、今月のニュースレターをお楽しみください。(^-^*)/

あいさつ



そこで思ったことが、大変と頭ではわかっている、しかし現実となるとまた違うんだということです。本当は、ボディプロの様に効いて来るんですね。先行きの不安と現実がじわじわ重くなっていく...

なぜ、そう思うのかというと、実は自分も自宅介護を2年間行ってきたのです。

3ヶ月は勢いで頑張れるのですが、その後は自分との戦いという部分もありました。時に優しくできなくなる自分がいたりもしました。

そんなわけで、本当に頭でわかることと、体でわかることの違いはあると思います。

最近、技術を教える、と言うことは忍耐も必要なのかなと感じます。



会社の歳時記

先日、ポンプの載せ替え工事をいたしました。

ボッシュ製のポンプが壊れたために、交換して動くように直してほしいとのご依頼です。

本来ならば同一の製品へ取り替えれば、とても早く簡単にできるんですが、しかしここで問題が発生...!

なんと、6ヶ月先でないとポンプが入荷できない!?

お客様は決算期を前に、動かしたい。でもポンプは震災の影響もあり動かない。

では、どうするか?

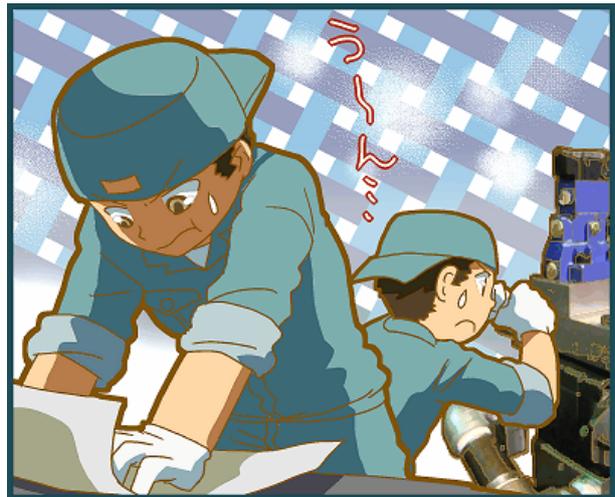
考えは、同程度の能力のポンプを載せ替えることでした。

そこで回路図入手、使用している継ぎ手の事前調査、取り付け方法の検討などを、一通りやる必要がありました。まず、スペース的には空間がないために、配管ができない。

配管位置が微妙にずれているので、調整しなくてはならないこと。

さらに、特にドイツ製の油圧ユニットであるために、モーター軸の寸法、

さらには継ぎ手の種類がわからないことがありました。



そこで、アメリカ製のポンプに変更するにあたり、まず現物を測り、現状の位置に配管が来るように調整しました。

下記の写真がこのポンプです。なんか、エンジンみたいでしょ!

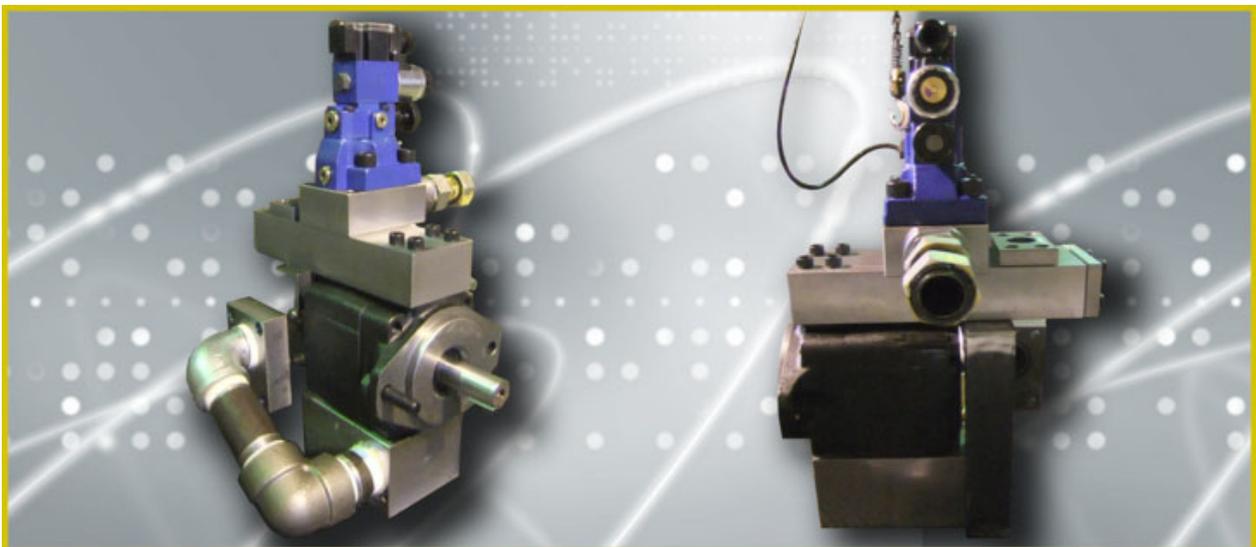
当社では、こんなこともやっています。ただ、今回のような改造は、設計から制作まで約1週間でやりました。そして現地工事は、半日で終わりました。

当社は現地でもたつのが嫌なので、できるだけ事前の準備をして行く方法をとっております。

中には、現地で工夫されるかたもいらっしゃるようです。

その方たちですと、現地工事、3日だそうです。

今回は、ポンプの入れ替え工事をご紹介いたしました。



先日、書店に本を買いに行ったところ、プレジデントの別冊で「**論語入門**」というものがありました。

ペラペラと立ち読みをしていたところ、ある部分にとっても興味を惹かれ買うことにしました。

その部分とは、小宮コンサルティングの社長さんの以下の言葉です。

技術・商売の中には、二つの側面があります。1つは、**義**を重んじること。2つめは**利**も確保すること。技術・商売の**義と利**。

その論語の中には「**義**を見てせざるは、勇なきなり」(為政第二 - 二四)・もう一つは「**利**に放て行なえば、怨み多し」(里仁第四 - 一二)とありました。

どのようなことかと言いますと、世の中にとって正しくなければ長続きしない、しかし正しいとはいえ、会社に利益が出なければまた、生活が成り立っていかない。

...先日、ご近所の鉄骨屋さんが廃業されました。不況が現実にはさまっているようです。

理由はといいますと、「仕事はあるのだが、単価が安くて商売の維持ができない。」とのことでした。

話は戻しまして、では技術ではどうなるのでしょうか？

技術の義とは「お客様のお困りごとに対して、解決すること。そのためには、経験を商品に反映させること、そして最悪も想定し、助言し、判断の材料としていただくこと」

それが、**技術の義**とっております。



プレジデント別冊
「**論語**」入門



また一方、技術の利とは「問題を解決するために、掛かる費用を踏まえたお見積もりをご提出し、双方納得の上で解決を図っていくこと」これは、**精神的な利**も含めます。

以前、ある会社でこのようなことがありました。ご依頼はカッターの修理をしてほしいとのことでした。

ではこれを実現するために、まずカッターの形状から使える部分を切り出す図面を起こし、切り出した部分を装着するカッターの図面双方を起こし、続いてカッターを大きなワイヤーカットで切り出す用手配し、溶接のための治具を制作し、そしてお客様に図面と見積もりを提出...、それらを至急作れとのことでした。

そして完成！、納品後、そのカッターで加工はできたようです。

...しかしその後、料金を払っていただけませんでした。

中間の商社さんは、物で払わせてほしいとのことでした。商社さんに義があったので後にその件は助かりましたが。

しかし、**精神的な利**(なんとかしてあげたいという心)は少なからず切れてしまいました。

論語には、この**義と利**がバランスよくないと、社会から淘汰されてしまうという旨があったのです。

グローバル化によって、安く安くというこの流れは止めようがありません。

利益も出にくい状況です。だからこそ、**精神的な利**(なんとかしてあげたいという心)の灯火が消えない様にしたいものです。

今回の失敗の中に成功があるは他人の振りを見て我が振りを直す、でした。

我々も外注さんに接するときは今度は自分側が相手の**義と利**を切ることのないよう注意しなければと、思いました。

最後にもう一つ、「君子は**義**に喩りて、小人は**利**に喩る」(里仁第四 - 一六)

本当に、「**義**」・「**利**」の双方がバランスよく保てるよう気をつけたいものです。

ちょっと コーヒータ임

今回のちょっとコーヒータ임は、夜店についてです。

6月の一ヶ月間、毎週金・土・日の三日間、夜店が開くんですよ。お祭りという縁日ですね。

お化け屋敷あり、射的あり、たいやきあり、広島焼きあり、子供のころ少ないお金でとてもワクワクしたのを覚えています。

今年も家族で夜店に行ったのですが、子供はやはり少ないお小遣いの中でこれを買ったらいくら、これ食べたらいくら、と自分なりに計算し購入しては楽しんでいました。

この夜店は、100店ほど(たぶん!)あると思います。行列ができていて、皆はしゃいでいます。

夜、お友達がお母さんにつれられて来たりとかして、友達同士で夜遊ぶのも楽しいんでしょうね。

しかし、今回は大変なことになってしまいました。

縁日がある程度楽しんだところで、突然空の雲行きが怪しくなり、土砂降りの雨になってしまったことです。

あわてて木陰に隠れて難を逃れたのですが、それはもうびしょぬれでした。

その後、風邪ををひくといけないので急いで退散です。楽しい余韻を引きつつも...!

でもこれも、きっと数年後には子供たちの良い思い出になるかな?

世間には暗い話が多い中、このような息抜きも必要なのかなと思います。

東北では、日々生活に困っている方もたくさんおられることは分かっていますが、すべてが自粛では経済活動は成り立ちません。

私たち自身が、楽しくないといけないのではないだろうか? そのように少し思います。

6月に入り、夜店・花火・子供の夏休み等々が入り、本格的な夏の到来がはじまりました。

節電の夏ということで厳しい状況には変わりないですが、そこは無理をし過ぎず!

節度を適度に保ちながらも、楽しむべきことは楽しくやって、元気のもとを作っていきたいと思います。

